

【第 5 号】

平成 27 年 12 月 25 日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港を始めとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます。

今回は、港に関する用語について、改めてご紹介します。
何気なく使っている用語も、一つずつ調べてみるとおもしろいです！



「ふ頭」って何？

みなとで船が横付けするための一連の施設と場所のことです。貨物の積みおろしや乗客の乗り降りのための設備、貨物を一時保管するための施設なども含まれます。



「野積み場」って何？

船から降ろされる貨物や、これから積まれる貨物の荷さばきや一時保管を行う施設で、屋根のないものを言います。石炭など、雨に濡れても比較的差し支えないものを置きます。



「防波堤」と「防潮堤」の意味は？ちがって何？

防波堤

港の外からの波の進入を防いで港の安全を守るための施設で、主に陸から離れた海上に位置しています。

防潮堤

高潮による陸地への海水の侵入を防止することや海岸の浸食を防ぐ陸上の施設であり、海岸沿いにあります。海岸堤防とも呼ばれます。



防波堤は波から港の内側を守っていて、防潮堤は高潮から陸地を守っているんだね！

★まとめ★

普段よく聞く用語ですが、改めて調べてみると理解が深まります。専門的な用語が飛び交う港湾のお仕事。用語をひとつ知るだけで、少し港が近く感じられます。





応援職員(新潟県) 上窪さんの仕事場訪問

今回は、豊間薄磯地区の災害復旧現場です。
 この地区は、TP+4.6mの堤防が地震や津波で破壊されたことで、民家や工場が倒壊・流失し、豊間中学校が浸水するという多大な被害を受けました。
 現在、堤防の復旧工事をしています。



コンクリートは固まるまでの間に、乾燥により収縮する為、ひび割れを防ぐ意味もあり、区間を区切って工事を進めています。



薄磯地区海岸堤防の全景

～赤松と黒松～

海岸沿いに行くと大抵松の木が生えているのをお気づきですか？松には赤松・黒松とありますが、黒松のみ防潮林として使用されています。理由は、汚染と塩害に強く冬でも枯れないからです。

じゃあ、二つの違いはなんだろう？



赤松・・・基本山に生息し幹の下部が暗褐色で上部が赤褐色。そして葉が柔らか。秋の味覚、マツタケが根元に生える・・・かも。

黒松・・・海辺に植樹されており、幹の下から上まで暗褐色。葉がかたい。

新潟県職員 上窪 章也さん

Q 新潟県ではどんな仕事をしていましたか？
 A 橋梁設計マニュアルの作成、橋種選定審査、橋梁工事に関する事業執行管理を行っていました。

Q 福島県に赴任しようと思った理由を教えてください。
 A 新潟県も中越地震、中越沖地震などの災害時には他県の方々から応援をいただきましたので、福島県とも友好関係にありたいと思い参りました。

Q 復旧・復興の仕事に携わってみて、今後福島に期待することを教えてください。
 A 震災により甚大な被害がありましたが、早期に復興して震災前の姿を取り戻してもらいたいと思います。

編集後記

今回は、港湾用語の説明と、新潟県の上窪さんの現場特集でした。現在施工中の堤防の1ブロックは、高さが7m、幅が10mあります。1ブロックを約15人の職人で、約5日間で完成させるそうです。

